

1 研究主題

新学習指導要領の趣旨を踏まえた「小学校プログラミング教育ファーストガイド」の作成

2 主題設定の趣旨

未来に訪れるであろう予測困難な社会においては、情報や情報技術を受け身で捉えるのではなく、手段として活用していく力が求められているところであり、プログラミング的思考を含む情報活用能力を育成していくことはますます重要となっています。このことを踏まえ、新学習指導要領においては、情報活用能力を言語能力と同様に「学習の基盤となる資質・能力」として位置付け、育成するよう求めています。さらに、小学校においては、プログラミング教育が教育課程の中で必須化され、2020年度から全面実施されることとなりました。佐賀県では2018年度をプログラミング教育の意識化の年とし、2019年度はプログラミング教育の構想化、具体化の年として位置付けています。そのため、県内では「児童がプログラミングを体験しながら、コンピュータに意図した処理を行わせるために必要な論理的思考力を身に付けるための学習活動」である小学校プログラミング教育の実践化に向けての動きが始まっています。

しかし、その動きはまだまだ小さく、多くの学校では、プログラミング教育の導入に向けて不安を抱えている様子が見えられます。プログラミング教育の在り方や授業の工夫に対するイメージが漠然としていることが大きな要因だと考えます。また、様々な文献やWeb上には多数の実践が掲載されていますが、そのICT環境の整備の状況は多くの場合恵まれており、学校や教師独自の努力でプログラミング教育を推進していく見通しが持てないことも、不安を掻き立てる要因になっていると考えられます。

このようなことから、プログラミング教育についての県内の先生方の不安を払拭し、全面実施に向けてスムーズに移行できるように、プログラミング教育の概要を捉えることができるような資料を作成することとしました。また、プログラミング教育を円滑に進めるために、参考となる文献やWebサイトを紹介する資料を作成することとしました。

以上のことを踏まえ、小学校プログラミング教育について具体的に示した「小学校プログラミング教育ファーストガイド」を作成し、県内の先生方の参考としていただくことを目的に本研究主題を設定しました。

3 研究の目標

新学習指導要領の趣旨を踏まえた小学校プログラミング教育に、県内の先生方が安心してスムーズに取り組むことができるように、「小学校プログラミング教育ファーストガイド」を作成する。

4 研究方法

- (1) 理論研究のための文献調査
- (2) プログラミング教育の用語や実践について、情報の収集

5 研究内容

- (1) プログラミング教育の在り方やねらい、授業の進め方について、新学習指導要領の観点から情報を整理し、リーフレットを作成する。
- (2) プログラミング教育を始めるに当たり、知っておくとよい用語や教材、学習活動に応じた具体的な実践事例など、必要と思われる事項を洗い出し、説明をしたり関連する文献やWebサイトを紹介したりするQ&Aを作成する。

《参考文献》

- ・ 文部科学省 『小学校プログラミング教育の手引き（第二版）』 平成30年
- ・ 佐賀県教育委員会 『佐賀県における小学校プログラミング教育』 2019年
- ・ 岡山県総合教育センター 『小学校プログラミング実践事例集2019』 平成31年
- ・ 堀田 龍也 『プログラミング教育とは何か』
- ・ 小林 祐起、兼宗 進 『これで大丈夫！小学校プログラミングの授業』 2018年 翔泳社